

有機農業のまち 山都町の取り組み



熊本県 山都町（やまとちょう）

阿蘇山麓のまち

山都町

YAMATO-CHO KUMAMOTO/JPN

- 山都町は「九州のへそ」、九州のほぼ中央に位置している
- 阿蘇南外輪山と九州脊梁山地の山々に囲まれた自然豊かな町
- 面積 544.67 km²
- 人口 13,503人（2020年国勢調査）
- 基幹産業 農林業



国指定重要文化財「通潤橋」



- 中山間地域特有の冷涼な気候と寒暖の差、清らかな水とミネラル豊富な土壌を活かした水稻や夏秋野菜を中心に生産
- 品目はトマト、キャベツ、茶、イチゴ、ブルーベリー、栗、椎茸、柚子など
- トマトの産出額は全国8位で山都町を代表する農産物となっている（令和2年市町村別農業産出額（推計））
- 農業に60日以上従事した世帯員、役員・構成員（経営主含む）の65歳以上が60.4%と農業者の高齢化が課題

農業経営体数	1,567 経営体
経営耕地面積	2,958 ヘクタール
農業に60日以上従事した世帯員、役員・構成員（経営主含む）数	2,788 人
（うち、65歳以上）	1,684 人 (60.4%)

2020年農林業センサス

- 山都町は50年以上前から有機農業に取り組んできた
- 先人たちの取り組みが今も受け継がれ、有機JAS認証における有機農産物生産行程管理者数が全国の自治体で一番多い「有機農業全国No.1のまち」
- 品目は米、ベビーリーフ、小松菜、里芋、じゃがいも、玉ねぎ、にんじん、なす、ピーマン、トマトなど
- 平成15年に山都町有機農業協議会が発足（会員数111名）
- 特定非営利活動法人「ORGANIC SMILE」が、令和4年4月に「有機の学校」を開校

有機JASにおける有機農産物の生産行程管理者数	52事業者
有機JAS認証ほ場面積	90.2ヘクタール

町の取り組み

- 有機農業推進を含む「安心安全な農産物を生かした農業振興」を重点プロジェクトとして位置付けている
- 🌈 令和3年度に「有機農業を核とした有機的な繋がりが広がるまちの実現」を提案し「SDGs 未来都市」に選定された
- 有機農産物の生産行程管理に係る有機JAS認証経費を補助（新規10/10、継続8/10）
- 小中学校の給食のお米を山都町産の有機米に変更（令和3年11月から）



【SDGs PR動画】ゆうきをつくる町

オーガニックビレッジ取組状況



山都町の有機農業を更に推進するため、令和4年度から「みどりの食料システム戦略-有機農業産地づくり推進事業」に取り組んでいる

事業実施主体

山都町

関係機関

- 山都町有機農業協議会
 - 販売促進部会
 - 学校給食部会
 - ブランド米部会
 - こども野菜塾部会
 - Organic山都部会
- 教育委員会

主な取組予定・時期

(1) 生産関連の取組み

- ①新規・若手農業者有機農業技術講習会
有機農業に係る座学やほ場の実地研修を行い、農業技術の向上を図る。
- ②有機野菜の成分分析
有機野菜の成分分析により野菜の特徴を見定め、品質や味の均一化など栽培体系の確立を行う。

(2) 流通関連の取組み

- ①販路開拓に向けた展示会等出展
展示会や商談会に出展し、新たなマーケットの開拓を図る。

(3) 消費関連の取組み

- ①学校給食への取組み
県内のホテルのシェフと学校の栄養教諭と一緒に有機野菜を使った学校給食メニューを開発し、オーガニック給食週間に提供することで、子どもたちに有機農業と山都町の魅力を伝える。

(取組時期：令和4年6月～令和5年3月)



オーガニックビレッジ取組状況



くまもとグリーン農業

©2010熊本県くまモン

・有機農業サポートセンター検討会先進地視察

有機農業施策の推進や農業者をサポートする「山都町有機農業サポートセンター」の設置を目指すため、有機農業開発センターを設置して有機農業振興に取り組んでいる宮崎県綾町への先進地視察を行った



(綾町視察研修)



(綾町手づくりほんものセンター)



オーガニックビレッジ取組状況



- 新規・若手農業者有機農業技術講習会

有機農業に取り組む新規就農者や若手農業者の栽培技術向上と安定した農業経営を目指すため、座学とほ場実践の講習会を実施

- 講師：一般社団法人 日本有機農業普及協会 代表 小祝 政明 氏



7月27日 座学及びほ場講習会
(ピーマン、レンコン)

※本年度4回開催予定

オーガニックビレッジ取組状況



- 販路開拓に係る展示会等出展

有機農産物の流通を促進していくためには、新たなマーケットを開拓していく必要があるため、関東や関西で開催される展示会や商談会に山都町として出展



オーガニックライフスタイルEXPO2022

オーガニックビレッジ取組状況



・学校給食の取組み

ホテル日航熊本の中野省吾総料理長と小中学校の栄養教諭、調理師と一緒に有機野菜を使った学校給食メニューの試作を実施、11月と12月に実施するオーガニック学校給食週間に提供



ホテル日航熊本
中野省吾 総料理長



オーガニックビレッジ取組状況



• 学校給食の取組み

オーガニック学校給食週間（11月と12月で2週間実施）では、期間中の学校給食の野菜の一部に山都町産などの有機野菜を使用

オーガニック学校給食週間のうち2日間は、ホテル日航熊本のシェフと開発した特別メニューを提供



オーガニックビレッジ取組状況



くまもとグリーン農業

©2010熊本県くまモン

- 有機農業実施計画策定

オーガニックビレッジ宣言に向けて、有機農業協議会役員や生産者、ＪＡ、販売事業者など関係者と検討会議を開催し、有機農業実施計画策定に向けて話し合いを行っている（令和5年3月予定）





有機農業全国No.1のまち「熊本県山都町」を
これからもよろしくお願いいたします。



山都町は「SDG s（持続可能な開発目標）」に取り組んでいます。

連絡先：山都町役場 農林振興課 有機農業推進室

〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6番地

TEL 0967-72-1136 FAX 0967-72-1080



山都町の魅力が詰まった農産物情報サイト



山都町の魅力と有機農業の特徴を紹介
新規就農PR動画



山都町ふるさと応援大使アーティスト伴都美子さん出演 SDGsPR動画

山の都のたからもの 🔍

山都町新規就農動画 🔍

山都町SDGs動画 🔍

